

## 2023年度（令和5年度）事業報告

住宅型有料老人ホームゆふ

### 1 施設を取り巻く現状と課題

#### (1) 事業の種類及び利用定員

住宅型有料老人ホーム

定員：22名

#### (2) 県市町村等からの受託、補助事業等

なし

#### (3) 地域における公益的な取組

地域の清掃活動として、1か月に1回「クリーングリーン作戦」実施。

#### (4) 運営方針

法人理念である「共歩・共笑・共育」のもと、利用者様が今まで過ごしてこられた暮らしや環境を大切に、温かい雰囲気の中で穏やかに安心して過ごしていただけるように支援してまいりました。

また、介護支援専門員と協力し、自立した生活が送れるよう、個々の状況にあった生活環境を整えられるよう努めました。

さらに、利用者様だけでなく、ご家族に対しても丁寧で配慮のある対応を心掛けました。また、一人ひとりに笑顔で寄り添えるよう、ご本人の思いを聞き、支援に反映していくように努めました。

### 施設の実施策と取組の方向性

#### (1) 働きやすくやりがいを感じられる職場づくり

ア 福祉・介護業界のイメージアップを図り、多様な働き方を推進する。

実施施策	職場内の雰囲気や業務内容が伝わるポスターを作成し広報する（達成度90%）
現状と課題	配食、清掃等の職員が不足しているが、対象となる年齢層の方がSNSを活用していない場合が多く、広報方法の検討が必要。
取組状況	スマイル広場に新しく求人のポスターを作成し掲示しました。以後、清掃職員1名、配食職員1名の募集があり、採用に繋がりました。

イ OJT 制度を中核に職員一人ひとりを育成し、チームケアを推進する。

実施施策	指導内容が統一できるよう、マニュアルの整備を行う（達成度 70%）
現状と課題	中途採用者に対し、複数の職員が指導しているが、指導内容が統一できていない事が課題である。
取組状況	既存マニュアルの見直しと、新たなマニュアルの作成を行いました。ご利用者の状態の変化により、支援方法や支援に入るタイミング等変化が多く、頻回にマニュアルの見直しが必要なものもあるため今後も継続していきます。

ウ 職場風土を改善し、職員の定着率とモチベーションを高める。

実施施策	業務量の軽減（達成度 60%）
現状と課題	職員の年齢層が高く体力的な問題により、離職する職員が多い。
取組状況	ゆふのパート職員が退職し、足りていない部分を正規職員が補い業務を行っていました。後期に職員募集のチラシを掲示し、パート職員を増やすことができましたが、夏の時期には暑さが厳しく、年齢が高い職員にとっては体力的にもかなり大変な状況ではあります。環境を整えながら、働きやすく離職へと繋がらない環境を作っていきたいと思います。

エ 業務の生産性を高め、ワークライフバランスを推進する。

実施施策	職員の心身の健康管理（達成度 50%）
現状と課題	職員の身体的負担や精神的負担があることに加え、業務量が多く、プライベートの時間が確保できない職員もいる。
取組状況	定期的な面談はキャリアパス時にしかできませんでしたが、面接時にはそれぞれの悩みや考えを聞くことができ、改善できる部分是对応していきました。職員同士のコミュニケーションは取れているが、正規職員の負担が大きくなっており、日々の支援をなんとかこなすだけの状況でした。令和6年に入りパート職員が増えたため、今後は業務量を整備し、一人の負担を軽減することが出来ると考えています。

## (2)利用者児の生活を支えるサービスの質の向上

ア 先進的で魅力あるサービスを提供し、サービスの質を高める。

実施施策	清潔感があり、利用者の身体状況に応じた生活環境の整備、維持（達成度 65%）
現状と課題	高齢化に伴い、利用者の心身機能が日々変化するため、心身機能に応じた生活環境の提供が必要である。また、施設の老朽化が進んでいる。
取組状況	ご利用者の機能に合わせ車椅子や、手すり、歩行器の使用開始などの変更を状態に合わせて行い、居室の整理整頓は日々行いました。

イ 安心安全で快適な暮らしを保証し、利用者児の満足度を高める。

実施施策	身元引受人との信頼関係づくり（達成度 70%）
現状と課題	入居者は高齢の為、転倒や体調の急変等が予測される。また、認知機能の低下で物とられや被害妄想などが出現している利用者様もいるため、連携不足によりトラブルに発展する可能性がある事が課題である。
取組状況	身元引受人との連絡は密にできています。ご利用者の体調は日々変化し、認知症状や精神状態も変わってききます。ご家族は日ごろの状況を見ていないため、はなかなか想像できず受け入れられないこともあります。そのため、細かな変化、行動などを頻回に報告し、理解していただくよう努めました。

ウ 施設機能を積極的に開放し、地域とのつながりを強化する。

実施施策	利用者家族・地域住民・ケアマネジャーに向けた見学会の実施（達成度 40%）
現状と課題	コロナ禍となり、地域住民との関りが無い。
取組状況	地域の方への施設見学を後期に考えていましたが、施設内でコロナクラスターが発生し、実施はできませんでした。ケアマネジャーに対しての見学会は開けませんでした。ゆふネットからの移行に合わせ、様々な事業所のケアマネジャーが介入し始めたので、施設を訪問した際に見学と説明を行うことはできました。

### (3) 安定的で持続的な経営基盤の確立

ア 収入の安定確保と経費増大の抑制で、安定性の高い財務体質を維持する。

実施施策	入居者確保のための広報活動（達成度 60%）
現状と課題	地域に高齢者は多いが、周辺に別の施設もある為、入居者が分散しやすい。また、入居以来の大半がケアマネジャーからの依頼であり、個人からの依頼が少ないことが課題である。
取組状況	ケアマネジャーと連絡を取り合い、連携は良くとれています。チラシの配布も行ったことにより、1名の入居契約に繋がりました。新しいパンフレットもできたため、来年度もチラシをもって挨拶に行き、居室の空き情報などを伝えていきたいと考えています。

イ 中長期的な視点をもって、持続性の高い経営を行う。

実施施策	設備費抑制のために、計画的に清掃・点検・修理を行う（達成度 80%）
現状と課題	施設が老朽化してきており、突発的な支出が起きる事が課題である。
取組状況	7月にフローアのエアコンの設置も完了しています。今年度より、エアコン・換気扇の定期点検と清掃、希望の家の廊下メンテナンスを入れ、定期的な整備をすることで施設の維持を今後も続けていきたいと思えます。

ウ 組織内の連携を強化し、強固な組織体制と経営基盤を確立する。

実施施策	施設内での連携強化と施設間での連携強化を行う（達成度%）
現状と課題	職員の勤務形態が様々で連絡事項や支援方法の統一が不十分である。デイサービスでの情報を把握していない職員もいる事が課題である。（達成度 60%）
取組状況	会議にて連絡事項や支援方法の統一は共有できているが、参加できていない職員への共有と意識向上が出来ていない部分があります。令和6年1月よりグループラインでの情報共有を開始し、把握できていない職員が減少してきています。今後もよりよい連絡ツールを検討していきたいと思えます。

### 入居利用率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	21名	21名	20名	20名	20名	21名	21名	21名	21名	21名	21名	21名	20.7

### 固定資産物品購入計画

(単位：千円)

名 称	購入業者	執行額	購入日
食堂エアコン	(株)エアテック九州	429	R5.6.21
居室エアコン	(株)エアテック九州	82	R5.7.18

### 修繕計画(大規模修繕を除く)

(単位：千円)

名 称	請負業者	執行額	完了日
配管修繕	未実施	0	
ウォシュレット	未実施	0	
室外機修理	(株)エアテック九州	179	R6.1.16
照明器具取替(キッチン)	土谷電気	47	R6.3.10

### 大規模修繕計画

(単位：千円)

名 称	請負業者	執行額	完了日
なし			